

仕事を頼まれる人になろう

中間考査が終わりました。運動部の人たちも、高体連に向けての取り組みが一段落しました。そろそろ、学校祭の準備も始まりそうですね。3年生はこれらのイベントと同時に進路の取り組みが始まります。公務員試験は出願の手続きを始めます。早い人はAOの動きもちらほら…。

さて、**学校祭や見学旅行のようなイベントをやりと、教室や授業や部活動だけでは見えてこない生徒のいろんな力量が見えてきます。**隠された一面とかいうレベルじゃなくて、その生徒の本当の力。“力量”です。

学校祭の表舞台は、いろんなイベントであり、展示発表であり、ステージでのパフォーマンスです。しかし、それらを実行するには、企画を立てて準備をして計画を立てなければなりません。

特に準備は大変。練習だけしていてもダメです。会場の準備もふくめた作業全部。それはまさに「仕事」です。シートを敷く、机や椅子や教壇や照明器具などの物品を運ぶ、掲示や計時などをする、さらにその場で発見された仕事にその場その場で対応する。そういう地味な「仕事」をこなす人間がいて、始めてイベントは成立します。そういう**地味な「仕事」をしている時にこそ、生徒の力量が見えます。**

地味な「仕事」をしなければならない時、人はおおざっぱに次のようなパターンを取ります。

1. そもそもその場に来ない。どーせ成績には関係ないだし、サボっちゃえ。
2. 一応その場には来るが、なるべく面倒な仕事をもらわないよう、上手に振る舞う。
3. 自分からは動かないが、指示をされれば一応は動く。いわゆる指示待ち。
4. 指示を待つだけでなく、自分から指示を仰ぐ。「何すればいいですか？」と聞いてくる。
5. 自分から仕事を探そうとする。指示された仕事が終わると「次は何すればいいですか？」と聞いてくる。さらに「今やったところの隣もやった方がいいですよ」と、自分から仕事を提案する。
6. 自分が動くだけでなく、他人も動かす。「おい、一緒に持ってくれ」と動く。

さて、もしみなさんが今、何か大事な仕事を頼まなければならないとします。上の1～6のうち、誰に頼みますか？あるいは、今、みなさんが何か仕事をするためにチームを組まねばならないとします。どのタイプは御免被りたいですか？

進路指導っていうとすぐに「やりたいことを探せ」だの「夢を持て」だのと言いますよね。最近はこちらに「学力を」とか「コミュニケーション能力が」なんてものも入ってきます。しかし、**やりたいことが明確で、夢があって、学力も高い**という1や2の人間を、**みなさんは仕事で使う気になりますか？**



私ならゴメンですね。**不器用で勉強がイマイチでも、私は 4～6 の人物と働きたい。**そして、企業が求める「コミュニケーション能力」は 4～6 のタイプは十分身につけているのです。

進路指導というものは、何だかんだ言いつつ、「**社会でどうやって食っていくつもりか**」という話なんです。やりたいこと探しは、**やりたくないことよりはやりたいことの方が働きやすい**からするのです。

夢探しにしても、**夢があれば頑張りが利く**ということです。でもその前に、**仕事をもらえなければ、どうしようもない**じゃないですか。

仕事をもらえるということは、つまり、**仕事を頼まれる人間である**ということです。**この人に仕事を頼めば、ちゃんとやってくれるだろう**と思われる人間にならなければ、やりたいことも夢も学力もヘッタクレもありやしません。まず、**仕事を頼んでももらえるような人間にならなければいけません。**仕事の能力なんか、その後の頑張りで身に付きます。

仕事とは「**他者にとって価値のある行為**」です。ある行為が仕事であるか、仕事以外の趣味とか暇つぶしであるかは、他者が決める。他者にとって価値があるもの、それを(お金と引き換えにでも)やってもらいたいと思うようなことが仕事です。

仕事を頼まれる人間と頼まれない(仕事をもらえない)人間の差というのは、つまりは、「あの人は頼める」と思われるか、「とてもあんなヤツには頼めないな」と思われるかの差です。

学校で「**もうお前には頼まないよ**」と言われるような振る舞いをしていて、**社会に出た途端に仕事をもらえるなんてこと、あると思いますか？**あるわけありませんね。

学校でなら、仕事を頼まれない方がヒマでラクです。しかし、**社会で仕事を頼まれないのは、食いつぶれです。**

お金がからめば話は別だ？お金がもらえるならちゃんとやる？そういう人は、やっぱり大した仕事はもらえませんね。もらえる賃金の分しか働く気がないんだもの。

目先のお金の分だけしか働かない人間と、代価以上の仕事までついやっちゃう人間と、みんなならどっちの人に仕事を頼みますか？

みなさん、まずはゼニにも成績向上にもならない仕事を率先してやりなさい。もらった仕事は「え〜何で私が」とか文句言わずにやりなさい。指示を待たずに、自分から仕事を探してどんどん動きなさい。仲間を巻き込んでどんどん働きなさい。

学校祭を待たなくても、他の行事でも掃除の時間でも何でも、仕事はいくらでもあるはずです。それをやりなさい。

あちこちで使い古されている「**信頼**」という言葉は、**そういう地味な仕事を率先してやる人間に対して与えられるもの**です。「アイツなら信頼できる、安心してこの仕事を任せられる」と。

ついでに言わせてもらおうと、**朝、時間通りに来ることができない。課題やプリントの提出期限を守れない。丁寧な文字を書く気がない。**そういう些細なことができない人にも「信頼」「信用」という言葉は与えられません。「これくらい良いだろう」という甘い考えも捨ててください。

